

第114回 フランス革命②

1 革命の勃発と進展

- ・国王は、いったん国民議会を承認した後、武力で弾圧しようとした。
- ・また民衆に人気のあった財務総監ネッケルを罷免した。

☆ () (憲法制定議会) (1789年6月～1791年9月)

- ・ () 年7月14日、食糧の値上がりに苦しんでいたパリの民衆はこれに抗議して蜂起した。
→武器弾薬があると信じられていた () を襲った。
※この事件をもってフランス革命の始まりとしている。
→これをきっかけに各地で農民が蜂起し、大パニックとなった(大恐怖)。

- ・国民議会は、混乱をおさめるため () を宣言して、農奴制、領主裁判権、十分の一税などを廃止した。
→混乱はおさまったが、土地は有償であったため自立できた農民は少なかった。
- ・さらに1789年8月、 () らの起草により、「アメリカ独立宣言」にならって「 () 」が採択された。

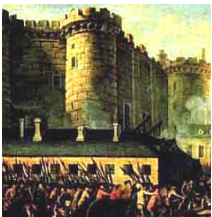
<フランス人権宣言>

第1条 人は、自由かつ権利において平等なものとして生まれ、かつ存在する。

第3条 あらゆる主権の原理は、本質的に国民にある。

第17条 所有権は、神聖で不可侵の権利である。

→オランブ=ド=グージュは「人権宣言」に反発し、「女性の権利宣言」を発表した。



バスティーユ牢獄襲撃

実際には武器弾薬はなかった。ただ絶対王政に逆らった政治犯を収監していた時期があり、アンシャン=レジームの象徴と見られていた。



人権宣言の屏絵

正式には「人間および市民の権利の宣言」といい、全17条の宣言である。「アメリカ独立宣言」やルソーの影響が見られる。



オランブ=ド=グージュ

「人権宣言」が男性中心で女性の権利が書かれていないことに反発し、1791年に「女性の権利宣言」を刊行した。フェミニズムの先駆者。後の恐怖政治の際に断頭台の露と消えた。

- ・しかしルイ16世は、「人権宣言」に反対した。
→1789年10月、パリの女性を中心とする民衆は、 () を行って国王をパリのテュイルリー宮殿に移した(十月事件)。
- ・国民議会は、教会財産の国有化・聖職者の公務員化・アッシニア紙幣の発行・ () の廃止・度量衡の統一などの改革を行っていった。



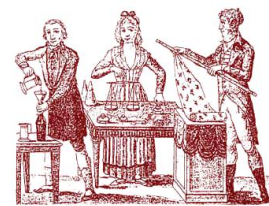
ヴェルサイユへ行進する女性

パンの値上がりに苦しむ女性たちは、ヴェルサイユ宮殿に乱入した。「男はバスティーユを奪い、女は国王を奪った」と言われた。



革命旗

現在のフランス国旗である。白はブルボン家の白百合を表す。民衆は、貴族とアントワネットを嫌ってはいたが、ルイ16世にはまだ信頼を置いていた。



度量衡の統一

地球の経線を4000万分の1にしたものを、1メートルとした。リットルやグラムも、このときに制定された。正式採用は1799年。

2 国王への信頼の失墜

・1791年4月、貴族でありながら第三身分の代表を務め、国王と国民議会の仲介役であった（ ）が急死した。



ミラボー
国民議会の中心的人物だったが、自分の利益のためなら何でもやる人物で、裏では国王と取引していた。

・1791年6月、ミラボーの死により革命が急進することを恐れた国王一家は、オーストリア領へ逃亡をはかるが失敗した。
→国民のルイ16世への信頼は失墜した。
※これを（ ）という。

・1791年8月、革命の激化を恐れたオーストリアのレオポルト2世とプロイセン王は、「国王に危害を加えた場合フランスに干渉する」と警告した。
※これをピルニッツ宣言という。
→フランス国内では、反オーストリア感情が強まった。



レオポルト2世
ヨーゼフ2世の弟で、マリー=アントワネットの兄にあたる。

3 立法議会の成立

・1791年9月、立憲君主政（立憲王政）を規定する（ ）が制定され、国民議会は解散した。
→憲法に基づいて制限選挙が行われ、一院制の立法議会が召集された。
→立法議会は、いくつかの派閥に分かれていた。

☆（ ）（1791年10月～1792年9月）

《 》

・立憲君主派。国王を残したまま、議会を中心に政治を行おうとする派で、貴族や富裕な市民に支持された。

主な人物…（ ）など。



ラ=ファイエット

この人は貴族出身ですから、フイヤン派に属するのは当然といえば当然ですね。

《 》

・穏健共和派。王政を廃止したうえで、少しずつ改革を行っていくようにする派で、中流市民に支持された。

主な人物…ブリッソなど。



ブリッソ

ジロンド派の指導者だったが、無能で無責任。受験にはあまり出ません。

《 》

・元は全てのグループを含んだが、フイヤン派やジロンド派の離脱後は（ ）と呼ばれる最も急進的なグループがジャコバン派の中心となったため、同一視される。

・急進共和派。王政を廃止したうえで、徹底的に改革を進めていくようにする派で、サン=キュロットや農民に支持された。

主な人物…（ ）、（ ）、エベール、マラー、サン=ジユストなど。



ロベスピエール

超がつくほどマジメな人。それが悲劇をもたらしました。後のプリントで詳しくやります。

Robespierre